

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		橋梁長寿命化修繕事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	050302000374	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備				単独/補助	補助	所属課	060101 建設課	
政策体系	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						課長名		
	施策名	03 道路網の整備						グループ	建設グループ	
	手段名	02 ②市道の維持管理・危険箇所の改修						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	02	01	01	00	道路橋梁総務事業			
法令根拠	道路法					単年度繰返し (平成26年度～)				
☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
全国的に橋梁は昭和30年代後半からの高度経済成長期に集中的に建設された物が多い。今後それらの橋梁が同時に更新時期を迎え、その時に多くの架け替え費用がかかるため、市の財政を大きく圧迫することが予想される。 しかし、橋梁について定期的に点検を行い、修繕計画を策定し、それに基づき予防修繕を行うことによって修繕費用を分散し、ライフサイクルコストを低減させることが可能となる。さらに、橋梁の崩落等による事故を未然に防ぐことによって道路ネットワークの安全性・信頼性の向上へとつながる。 桜川市でも平成21年度より橋梁の点検を実施し、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定している。その計画に基づき平成26年度より橋梁の修繕事業を行っている。	橋梁定期点検結果の判定に基づき、早期に措置を講ずべき状態(Ⅲ判定)の橋梁を第1優先として修繕を行う。予防保全段階の橋梁(Ⅱ判定)については、平成25年度に策定された橋梁長寿命化修繕計画対象橋梁(橋長15m以上の47橋)を第2優先として修繕を進める。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
橋梁補修設計契約事務・監督 橋梁補修工事積算契約事務 橋梁補修工事契約事務・監督 修繕計画の変更 補助申請	早期に措置を講ずべき橋梁数(点検結果がⅢ判定)	橋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	長寿命化修繕計画対象橋梁の内予防保全段階の橋梁	橋	31.00	31.00	31.00	31.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
桜川市内の市道にかかる橋梁	桜川市内の市道にかかる管理橋梁数	橋	369.00	369.00	369.00	369.00	369.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
橋梁のライフサイクルコストの低減 道路ネットワークの安全性・信頼性の向上	修繕が完了した橋梁数(Ⅲ判定の橋梁)	橋	42.00	42.00	42.00	42.00	42.00
	修繕が完了した橋梁数(Ⅱ判定の内、橋長15m以上)	橋	8.00	8.00	8.00	8.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	9,350	0		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	1,199	9,138	0		
			事業費計(A)	千円	1,199	18,488	0		
	正規職員従事人数	人	3.00人	4.00人	4.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)		
	12 委託料	17,820				
	14 工事請負費	668				
		合計	18,488			合計

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容 ・橋梁修繕を実施する橋梁の選定	08年度の事業内容 ・橋梁修繕計画設計：1橋	09年度の事業内容 ・橋梁修繕：1橋
-----------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	事務事業No.	50302000374	所属課	建設課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 全国的に橋梁は同時期に建設された物が多い。今後それらの橋梁が同時に更新時期を迎え、その時に多くの架け替え費用がかかるため、市の財政を大きく圧迫することが予想される。しかし橋梁について定期的に点検を実施し、修繕計画に基づき予防修繕を行うことによってこの費用を分散し、ライフサイクルコストを低減させることが可能となる。さらに、橋梁の崩落等による事故を未然に防ぐことによって道路ネットワークの安全性・信頼性の向上へとつながる。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 道路施設の老朽化による問題の解決のために平成26年度より茨城県道路メンテナンス会議が開かれ、橋梁及び道路構造物の維持管理の重要性について議論されている。</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 良好な管理の下に未永く利用できることは、安全かつ円滑な交通の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市が管理する橋梁であり、管理者である市が行うことは妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 定期点検の結果に基づき必要なものを修繕しているため、成果は一定である。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 橋梁の維持修繕が困難となる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 橋梁の維持・修繕であり、類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 点検結果を基に修繕の必要性を精査したうえで補修対応であることから、削減は出来ない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 点検結果及び計画に基づく修繕事業のため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	橋梁補修工事の施工範囲は、点検結果を基に早期措置が必要な箇所及び予防保全として措置が望ましいものを対応している。本来予防保全を目的としているが、多数の橋梁を望ましい状態まで補修するには、国庫補助金、市予算共に厳しい状況である。橋梁が存在する限り継続する事業であり、真に補修が必要なものを見極めたうえでの発注が必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>